

2015年度の予算編成に向けて 大阪アーツカウンシルからの提言

20140728 統括責任者 佐藤千晴

1) 上方芸能・上方演芸を大切に

上方芸能・上方演芸は大阪独自の文化資産。

府・市ともに上方芸能の保持・継承・振興に力を入れてほしい。

☆府＝ワッハ上方（府立上方演芸資料館）

中長期的ビジョンを打ち出し、安定した運営を。

☆市＝文楽振興

文楽協会への「運営助成」から文楽全体の「振興」へと方針を
転換しても、文楽振興は重点事業として積極的に。

2) 新規事業案 フェスティバルという実験

まとめて「見せる」／人のつながりを育て、手法を広げる

<現在の課題>

☆府市文化事業 「都市魅力」「人と地域のエンパワーメント」が不足

浸透度が低い。事業設計、情報発信にもっと工夫が必要

☆現場を歩いた実感 文化資産は豊かだが、ジャンルごとの「タコツボ化」

「フェスティバル」形式で実験を！

☆新規事業と既存事業を同じエリア、同じ時期にまとめて見せる

☆2015年度はまず文化的インフラの蓄積がある中之島界限で

☆新規事業は新たな人材、新たな知恵、新たな手法の開拓も

☆「中之島」をキーワードに府、市、民間など様々な文化団体・施設・

活動をまとめて発信。新たな「つながり」を育て、脱タコツボを目指す